

Magical Power Mako

1972年に16歳の若さでNHKのドキュメンタリー等の音楽を担当し、天才音楽少年として脚光を浴びる。自宅でテープコラージュなどの手法を使って録音を重ね、粗いながらきわめて実験的な、膨大な量の作品を作る。当時、自宅には300種にもおよぶ楽器があったという。1974年、ポリドールよりデビューアルバム「マジカル・パワー」を発売。奇想天外で実験的な音楽性が一部で絶賛され、カルト的人気に。

1990年代に入ると、「宇宙人との交信のための音楽」を作り始める。2011年、脱原発をコンセプトに掲げたバンド「MOX」を結成。twitterを武器に、日々大暴れしている。

PESEPESE

2004年、11月結成。Percussion team OiOiのメンバーより、奥野毅、かなちゃん、溝口サトミン、三好東暉の四人が意気投合。西アフリカで昔から受け継がれてきた芸能(歌、踊り、太鼓の合奏)は大切な儀式や祝い事で今も演奏されている。そんな生活の中に息づく音楽に魅せられ、音楽の世界を旅する面々。西アフリカの音楽を基軸に中南米、アジア等世界のトラディショナルなリズム・アンサンブルにオリジナルメッセージを載せて唄う、笑いあり・涙ありの歌謡パーカッションスペクタクルバンド。「PesePese」は「そうだ!その通り!」という意味。

111111111111 (twelve one)

keyboard & vocal のアカネとbassの池田よしあきaka gosei-f が中心となり2009年にkeep ears openを結成。

後にPA&SpaceEcho.RhythmBoxのspace kenが加わり、現在のコアメンバーに。ライブ時はコーラス&keyのhanapiro、violinのマツイが不定期に参加。2011年11月11日11時11分11秒にバンドが生まれ変わり、twelve oneと改名した。スローでアンビエントなグルーヴ、独特の旋律を紡ぐベルベット・ヴォイスが溶け込んだ、温かみのあるサウンドが特徴。チルアウトミュージックでありながら同時にポップミュージックを強く意識した音世界を展開している。

マルタニカズ

『伝説的パンク・ファンクバンド「A Decade—IN FAKE」から早すぎた脱国境バンド「SON NA BANANA~PARABOLA SPINS」へと至るlate80's~90'sの冒険的音楽集団「ザ レーベル ラフレシア」主宰。浪速のカエターノ。現在はレーベルのフェスタ「ラフレシアン・コムプレックス」、自身の「ホストライブ」での異種音楽とのコラボレーションなどを積極的に行っている。三時間世界一周の自身のソロ・ライブの他、リアル・ニューウェイヴバンド、「コンヴィニエンス ストア カウボーイズ」、南部音楽研究会「ロス ソロス ロボス」も率いる。月刊SAVVY,MEETS REGIONAL,大阪人,等に執筆・連載多数。

Paul jackson with Nassau

ハービー・ハンコックの1973年のアルバム「ヘッド・ハンターズ」にも参加した言わずと知れたスーパーベーシスト、ポール・ジャクソンが、今回のイベントに賛同して札幌にやってくる! 岩のようなベースのグルーヴ、甘いボーカル、繊細なピアノプレイなど多彩な音楽の才能が光る彼のステージを間近で観るチャンスです!

DJ小林

1968年8月13日午前8時9分生/出生場所:兵庫県神戸市元町。小学五年生の時、TV-CFで観たYMOをきっかけにTECHNO-POP, NEW-WAVE, PUNKの影響を受ける。'97年頃から若干のサイケデリックトリップ体験を積み、いろいろpartyを手伝ったりDJとかも始める。ここ最近は名誉顧問として『高座の滝・Ambient Art Service』、『チルアウト喫茶@ラリパッパcafe』等に関与したり。人類の未来に光あれ。☺

山本梨華

日本を代表するハタ・ヨーガの指導者であった故・番場一雄氏に師事。現在、苦楽園の越木岩会館にて、ハタ・ヨーガを軸にした独自のメソッド「ブレアデス・ヨーガ」を主催。本会場90+9のオーナーでもある。今回もライブ前に軽く呼吸法とアーサナ(体位)のワークショップを予定。

プレム

全身を足で踏み体のバランスを整える、足圧『楽健法』を施術。血液とリンパ液が滞り無く循環され、全身に酵素と栄養が行き届き老廃物が取り除かれます。この機会にぜひお試しあれ。